

第1回企画委員会 議事録

日 時：令和7年6月24日（火）15：00～17:00

場 所：3号館7階 参与員室

出席者：委員4名、アドバイザー1名

■兵庫県関連施設の来場者数、各事業の状況

委員等

- ・子ども招待の実施状況について、課題はあるのか

事務局

- ・課題は特にないが、団体行動となるため自由にパビリオンが回れなかったなどの声はあがっている。
- ・万博会場内での満足度については約9割という状況であり、どちらかといえば訪問に至るまでの手続等がスムーズにいかない部分もあり、そのあたりで一部満足度が下がっている。

委員等

- ・ひょうご EXPO TERMINAL の来場者数を増やす工夫をしっかりと議論しないといけない。

事務局

- ・夏休みに向けて、展示内容も拡充し、週末ワークショップも実施するなど、工夫を凝らしていく。

委員等

- ・人を呼び込むという戦略に関して言うと、展示内容などの精査をもう少しされた方が良い。

事務局

- ・KPI 設定時は県外からの来客も視野に入れていたが、遠方地域から多くの人が来ることはなかなか難しいので、県内でも特に阪神間をメインにPRしていく。

委員等

- ・そういった設定であれば、親子連れなどのリピーターにとって魅力のあるコンテンツを考えるべきである。

委員等

- ・夏休みに入るので、夏休みの宿題やひょうごを知る自由研究ができるなど、地元の子供達や家族にターゲットを変更するなど、EXPO TERMINAL の特徴を活用して、最後ゴールしてほしい。

■万博の展示物の二次利用

委員等

- ・絵画の二次利用に関して、タイムカプセルのように書いてくれた子が10年後に再度絵画を見て、自分たちの思っていた兵庫とどう違うのかを照らし合わせて比べられるようにするのがよい。

委員等

- ・子どもが書いた絵を10年後の指定した日、住所に送るサービスを提供するNPOがある。

委員等

- ・誰にどんなメッセージを伝えていくのが大事。子どもの純粋な夢や思いを兵庫県民の大人が感じることにごく意味がある。子どもの純粋な想いを受けて、「自分ももっと頑張らないといけない

だ」という想いになれるような機会をどこかに作れば、兵庫にとって意味のある場になるのではないか。

委員等

- ・子ども達に「万博に行ってみてこんな未来になったらいいな」などの思いを全員に一言ずつぐらいもらって、何かメッセージを作るというのもある。

以 上